

発行者: 検査課

揭示期限: 令和5年8月31日 (木)

揭示許可: 総務課



なすびの花

2022年度総括: 品質保証推進室長

いつも皆様には、品質活動へのご協力をありがとうございます。

今年度のなすびの花の中で、私が特に

印象深く思っているのが、3月号と4月号の、

『OODA』と『PDCA』

に関する内容で、気象災害を事例にした説明から組織力を培っていきましょうという

内容、そして、OCD (品質・価格・納期)、

OSME (生産性・安全・士気・環境) の内容も気に入っています。

過去の事例から、色々な改善を進め

品質向上につなげる、また、災害に対する備えを整え、このような活動を進めることで、会社全体が向上していくことを感じています。

さて、この1年は、従来生産している製品以外に、多くの新しい製品の生産も始まり、新たなお客様との取引も始まった年となりました。

お客様毎に違うシステム、品質基準をお持ちですが基本的には、ほぼ同じですので、常に品質向上に対する改善活動に努めていくことが、非常に重要だと思っています。

これからも皆様の品質活動、改善活動の維持向上を期待しています。

また今期は、来訪者も増えて、来期につながる大きな1年になりました。

新型コロナウイルスは5類となりましたが、まだまだ気の抜けない状況であり、気象災害や地震被害などの不安がぬぐえない昨今ではありますが、来期は新社屋も完成し大きく変化する1年となります。

会社が進みます発展し、皆様も平和で明るく過ごせるように、従業員一丸となり、頑張っていきましょう。

今年度の振り返り

今年度も色々課題もありましたが、早いもので、もうイーエルの1期が終わります。

今年度は、社内の若返りを強く感じた1年でした。先月号で、経験の浅い内部監査員の内部監査のお話を記事にしましたが、どの部署でも若手世代が増えていて、人材育成の大切さを感じています。

経験豊富な従業員が減ってくると、今まで培ってきたノウハウまで失ってしまうこともあり得ます。

若手世代の能力を大きく伸ばしていくためにも、経験を積んでいる世代から、若手世代への知識の引き継ぎを丁寧に、入念に行いたいですね。

来期は、社屋も新しくなり、社内人員も若返っていることで、更なる飛躍の1年となりますように。

ISO監査

今年度のISO認証監査が終了しました。

毎年、外部監査を受けると、規格の読み方や捉え方など、理解不足な面の発見があったりします。

今回は、環境(14001)の監査時に、薬剤に関する認識不足な一面の発見がありました。

製造工場では、IPAやパークリーナーといった様々な薬剤を使用したり、お客様から支給される薬剤なども置かれています。

これらの薬剤については、危険物である場合もあり、取り扱いを慎重にする必要があります。

こういった薬剤についての管理のしくみを再検証することとなりました。

他にも

「そういうことでしたか！」

と、理解できた項目があり、ISO事務局での今後への課題ができました。

また、品質(9001)では、各部署の目標管理の項目で、審査員の方から、工場内で作業中の方へのインタビューがあり、持ち場の目標とご自身の作業における工夫など、明確な受け答えがあったということで、審査員の方から、お褒めの言葉をいただいています。

秋には認証の更新となります。

来年度も全員で、品質・環境ともに、たくさん勉強してまいります。